

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	救急医療事業			会計	款	項	目	大	事	小
政 策	04	4節	誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	主管課	健康増進課					
施 策	4-4	健康で明るい暮らしづくり		主管課長	伊原 理香					

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	休日・祝日及び年末年始の夜間の中等症患者	意図	第二次救急医療体制を確保する。
事業内容	休日・祝日・年末年始の午後6時から翌日午前8時まで、市内3病院輪番制による第二次救急体制を確保する。			
事業開始から現在までの状況変化	昭和63年4月より、市内第二次救急医療機関3病院の輪番制で実施。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	利用者数	337	372	339	人	→→
②							
③							
④							
⑤							
⑥							

指標で表すことができない定性的な成果				目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）
事務事業のコスト				利用者数の傾向について一概に評価するのは難しいが、人口の増加に対して利用者数は必ずしも増加していない。
事務事業の総コスト(a=b+c)	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
事業費(b)(円)	7,554,560	7,554,560	8,276,000	
うち一般財源	7,554,560	7,554,560	8,276,000	
職員給与費(c)(円)	411,900	402,720	395,520	
人役・職員(人)	0.06	0.06	0.06	
人役・再任用(人)				
人役・臨職(人)				
人役・嘱託(人)				
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）				
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）				

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	今後も当該事業による救急医療体制を維持していく必要があることから、流山市医師会と連携を図っていく。	③取組における課題(Check)	今後も当該事業による救急医療体制を維持していく必要がある。
②H30に実施した取組(Do)	流山市医師会と第二次救急医療機関指定業務の日単価の見直しについて協議を行った。	④課題に対する今後(H31～)の改善計画(Action)	流山市医師会に対する第二次救急医療機関指定業務について、日単価の見直しを行う。